



菊池 美也 議員

(遠野令和会)

一問一答方式

### 地域経済循環分析 風が吹けば、桶屋が儲かる？

市長：…政策決定に必要な手法

問：地域経済振興の難しさについての見解は。

答(市長)：振興策の効果をどう捉えているか。

問：これまでの地域経済

答(市長)：従来の地域活性化策は、消費型イベントを仕掛け、「参加者が何人いたから成功しました」で終わっている。目に見えやすく、瞬発力もあり、多くの関係者の賛同も得やすい。その反面、投入されたヒト・モノ・カネが、その次にどのように地

問：これまでの地域経済

答(市長)：従来の地域活性化策は、消費型イベントを仕掛け、「参加者が何人いたから成功しました」で終わっている。目に見えやすく、瞬発力もあり、多くの関係者の賛同も得やすい。その反面、投入されたヒト・モノ・カネが、その次にどのように地

問：これまでの地域経済

答(市長)：従来の地域活性化策は、消費型イベントを仕掛け、「参加者が何人いたから成功しました」で終わっている。目に見えやすく、瞬発力もあり、多くの関係者の賛同も得やすい。その反面、投入されたヒト・モノ・カネが、その次にどのように地

施策番号：30 制度

### 地域経済循環分析

環境省が、温室効果ガス排出量の推計技術を生かして開発した分析手法。「産業連関表」と「地域経済計算」に基づき、地域の産業構造やエネルギー代金の収支などを知ることができます。

担当課：大臣官房総合政策課 (03-5521-8227)

ダウンロードは、環境省ホームページから <http://www.env.go.jp/policy/circulation/index.html>

環境省 Ministry of the Environment DBJ 株式会社価値総合研究所

### EBPM = 証拠による政策立案 直感だけで行う 地域振興策は卒業すべき

市長…まさに、計測なくして政策なし

問：EBPMの徹底

① EBPMの徹底

② 鳥瞰的な視点

③ ①と②を踏まえた

施策

が必要では。

答(市長)：いずれも同感である。証拠に基づき「政策の基本的な枠組み」を明確にする。ただし、総論・各論の両方が必要。虫の目で情報を多角的に集め、鳥の目で状況を俯瞰的に眺めたい。「なぜ必要なのか(総論)」と「どう進めるのか(各論)」の検討が欠かせない。

問：令和2年度は、「第2次遠野市総合計画後期基本計画」の策定の年。「※地域経済循環」分析の結果を政策立案の証拠として位置付け

※地域経済循環分析とは 環境省が推奨している地域経済分析の手法。「生産(販売)」「分配」「支出」の3つの側面で、各自治体や圏域の経済構造を俯瞰的にとらえ、循環を促す「強い産業」と、逆に循環を遮る「弱い産業」を把握する。

答(市長)：客観的指標に基づく施策の立案は、益々重要になる。より分かりやすく、根拠ある施策の立案となるよう、しっかりと取り組んでいく。

職員の人材育成、情報活用能力、データ分析能力の底上げに取掛かる。

### 小友町メガソーラー開発

市長：…住民がばらばらの想いでこの問題に向かっている

問：小友町外山地区のメガソーラー開発現場から泥が流出し、河川を汚濁している。現状の認識は。

答(市長)：平成31年4月から濁水を確認している。改善を要請しているものの未だに降雨の都度濁水を確認している。

問：小友町外山地区のメガソーラー開発現場から泥が流出し、河川を汚濁している。現状の認識は。

答(市長)：平成31年4月から濁水を確認している。改善を要請しているものの未だに降雨の都度濁水を確認している。

問：小友町外山地区のメガソーラー開発現場から泥が流出し、河川を汚濁している。現状の認識は。

答(市長)：平成31年4月から濁水を確認している。改善を要請しているものの未だに降雨の都度濁水を確認している。

問：小友町外山地区のメガソーラー開発現場から泥が流出し、河川を汚濁している。現状の認識は。

答(市長)：平成31年4月から濁水を確認している。改善を要請しているものの未だに降雨の都度濁水を確認している。

問：小友町外山地区のメガソーラー開発現場から泥が流出し、河川を汚濁している。現状の認識は。

答(市長)：平成31年4月から濁水を確認している。改善を要請しているものの未だに降雨の都度濁水を確認している。



小松 正真 議員

一問一答方式

地域住民の皆様が理解と協力が無ければ、地域住民及び市民の皆様がまとまっていけないと事業者と向き合うことができない。小友町と柏木平地区の



3月定例会閉会中3月11日にも小友川の汚濁を確認

### 松崎町メガソーラー開発

市長：…外山を教訓にしながらしっかりと対応していく

問：松崎町には2つの計画が持ち上がっている。一つは47ヘクタール、もう一つは7.7ヘクタール。現在条例に基づき、事前協議と手続きを行っている。

答(市長)：松崎町には2つの計画が持ち上がっている。一つは47ヘクタール、もう一つは7.7ヘクタール。現在条例に基づき、事前協議と手続きを行っている。

問：松崎町には2つの計画が持ち上がっている。一つは47ヘクタール、もう一つは7.7ヘクタール。現在条例に基づき、事前協議と手続きを行っている。

答(市長)：松崎町には2つの計画が持ち上がっている。一つは47ヘクタール、もう一つは7.7ヘクタール。現在条例に基づき、事前協議と手続きを行っている。